

令和6年度 (2024年) 当初予算資料

概要版



今治市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

令和6年度当初予算の概要

会計	令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	増減額	対前年比
一般会計	777億円	752億5,000万円	24億5,000万円	103.3%

次の20年に向けて ～地域と未来をむすぶ～

合併20周年を迎えるにあたり、「ずっと住み続けたいまち」として持続的で魅力あるまちづくりに取り組むため、各分野にわたって**積極的な予算を編成**。なかでも「**人口減少対策**」「**D X・G X**」「**能登半島地震を教訓とした防災・減災対策**」などの**直面する課題**に加え、「**子育て**」「**産業**」「**教育**」を特に重点的に予算配分

一般会計の特徴

<歳入>

市税・地方特例交付金

208億2,684万円（前年比 +2億5,000万円）

地方交付税 198億4,000万円（前年比+19億1,000万円）

寄附金 18億2,300万円（前年比+ 1億2,100万円）

市債 45億7,870万円（前年比+14億4,330万円）

建設事業の増

国庫支出金 106億7,781万円（前年比 △1億8,306万円）

新型コロナウイルスワクチン接種事業の減

<歳出>

教育費 76億3,535万円（前年比 +12億3,865万円）

小中学校一括LED化事業、英語教育の充実、給食費負担軽減

総務費 80億2,271万円（前年比 +12億8,614万円）

しまなみ総合庁舎の建設、合併20周年記念事業費

民生費 300億5,257万円（前年比 + 7億3,761万円）

木育スタート事業、結婚・妊娠・出産・育児切れ目のない支援

土木費 91億 904万円（前年比 + 4億2,298万円）

町谷きっずパーク（仮称）事業、公共街路事業費

重点施策

I 直面する課題への対応

人口減少対策、物価高騰、D X・G Xへの対応、働き方改革・2024年問題、能登半島地震を教訓とした防災・減災対策を積極的に推進

II 「市民が真ん中」のまちづくり

市民サービスの向上、市政への市民参画、新たな市役所への変革、合併20周年事業の展開を推進

III デジタル化の加速・スマートシティ今治の推進

市民生活のD X、まちづくりのD X、行政のD Xを加速させ、スマートシティ今治の推進

IV 瀬戸内クロスポイント構想の実現

産業と仕事支援、i.i.imabari!のパワーアップ、地域資源を生かした観光振興、農林水産業の支援

V 島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり

地域コミュニティの活性化、新たなまちづくり・中心市街地の再開発、ゼロエミッション社会への移行、文化・スポーツのまちづくりを推進

VI ひとりひとりが輝く今治の創出

子育て支援・今治版ネウボラの推進、学びの充実・教育大綱の推進、多様な生き方の尊重、「人生100年時代」に向けた幸齢社会の実現、障がい者にやさしいまちづくりを推進

VII 防災・減災対策で災害に強いまちづくり

想定される南海トラフ地震や風水害等への備えを推進

R6当初予算 77,700,000千円

令和6年度当初予算の重点施策

I 直面する課題への対応

<人口減少対策>

◎11 地域人材交流支援事業	3,083千円
<物価高騰対策と地域経済の立て直し>	
☆17 給食費等の負担軽減による子育て支援	62,400千円
<DX・GXの促進>	
◎22 A I技術を活用したインフラメンテナンス・防災対策事業	11,756千円
<働き方改革・2024年問題への対策>	
◎28 物流・建設業の2024年問題対応支援	30,000千円
<能登半島地震を教訓とした防災・減災対策>	
☆33 防災・減災体制の強化	209,734千円

II 「市民が真ん中」のまちづくり

<市民サービスの向上>

38 住民窓口の多様化モデル事業	24,853千円
<市政への市民参画>	
☆41 広報広聴・情報発信の強化	42,669千円
<新たな市役所への変革>	
☆43 地方創生SDGs推進事業	10,125千円
45 しまなみ総合庁舎整備事業・伯方支所跡地活用事業	636,260千円
<合併20周年記念事業の展開>	
☆48・49・50 合併20周年記念事業関連	201,850千円

III デジタル化の加速・スマートシティ今治の推進

<市民生活のDX>

☆54 保育所等ICT化推進等事業	1,500千円
<まちづくりのDX>	
◎56 デジタル地域通貨導入実証事業	20,000千円
☆64 稼ぐカグレードアップ事業	24,350千円
<行政のDX>	
◎67 オンライン申請フォーム作成支援業務	3,388千円

IV 瀬戸内クロスポイント構想の実現

<産業と仕事支援>

◎70 地域産業デジタルイノベーション加速化事業	81,200千円
☆71 デジタル人材育成事業	21,500千円
<i.i.imabari!のパワーアップ>	
☆77 移住交流推進事業	92,479千円
<地域資源を生かした観光振興>	
☆78 観光振興事業	102,069千円
☆79 サイクルシティIMABARIのパワーアップ	264,683千円
<農林水産業の支援>	
☆84 食と農のまちづくり推進事業	22,869千円
89 森林環境整備・林道整備事業	152,311千円

V 島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり

<地域コミュニティの活性化>

☆91 地域公共交通活性化事業	24,415千円
<新たなまちづくり・中心市街地の再開発>	
☆96 しまなみ海道の利用促進と通行料負担軽減	79,904千円
◎97 中心市街地まちづくり基本計画策定業務	58,700千円
<ゼロエミッション社会への移行>	
☆101 GX推進事業	491,700千円
☆103 地域再生可能エネルギー推進事業	64,700千円
<文化・スポーツのまちづくり>	
◎109 魅力あるスポーツイベントの誘致	7,500千円

VI ひとりひとりが輝く今治の創出

<子育て支援・今治版ネウボラの推進>

◎110 木育スタート事業	14,400千円
◎112 今治版ネウボラ拠点整備事業	9,500千円
◎121 こども誰でも通園制度（仮称）試行的事業	26,222千円
◎123 町谷きっずパーク（仮称）整備事業	316,000千円
<学びの充実・教育大綱の推進>	
☆125 英語教育の充実	90,964千円
<多様な生き方の尊重>	
◎134 終活サポート事業	350千円
<「人生100年時代」に向けた幸齢社会の実現>	
☆137 予防接種事業	19,000千円
◎141 友愛訪問事業	500千円
<障がい者にやさしいまちづくり>	
☆144 障害者社会参加促進事業	752千円

VII 防災・減災対策で災害に強いまちづくり

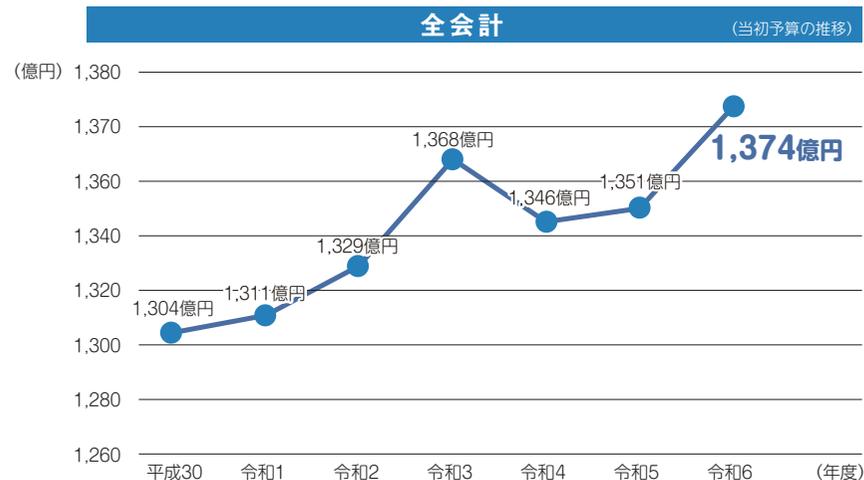
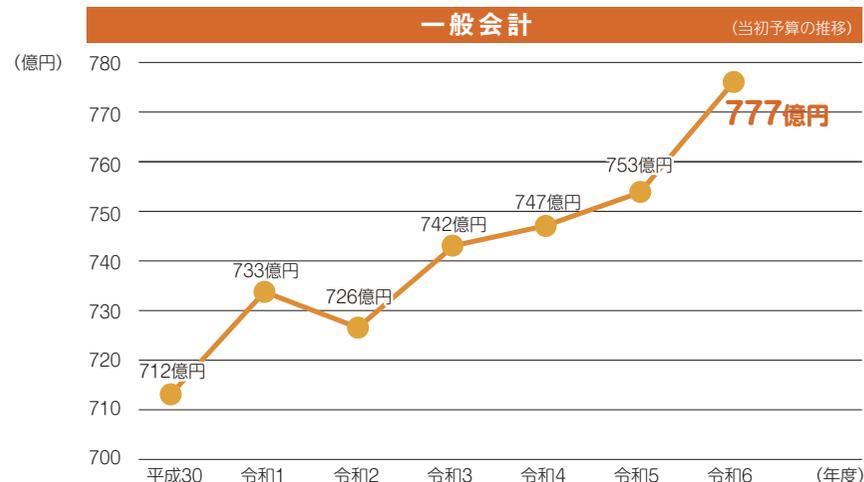
☆147 避難行動要支援者避難支援対策事業	7,964千円
◎148 災害時の医薬品供給体制の確保	2,652千円
☆150 安全安心な道路の管理	663,802千円
☆154 消防施設整備事業	533,336千円

01 会計別予算規模

会計別予算規模

(単位:千円、%)

会計		年度	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
一般会計			77,700,000	75,250,000	2,450,000	3.3
特別会計	用地取得		1,000	1,000	0	0
	墓園事業		50,000	49,900	100	0.2
	船舶交通		262,300	242,600	19,700	8.1
	港湾事業		333,000	692,000	▲359,000	▲51.9
	鉱泉供給事業		12,000	10,200	1,800	17.6
	駐車場		11,600	23,100	▲11,500	▲49.8
	国民健康保険		17,651,000	17,974,000	▲323,000	▲1.8
	後期高齢者医療		3,199,000	2,749,000	450,000	16.4
	介護保険		20,179,000	19,573,000	606,000	3.1
	小計		41,698,900	41,314,800	384,100	0.9
企業会計	水道事業		6,890,000	6,687,000	203,000	3.0
	簡易水道事業		142,600	397,500	▲254,900	▲64.1
	工業用水道事業		365,600	343,800	21,800	6.3
	下水道事業		10,616,000	11,106,000	▲490,000	▲4.4
	小計		18,014,200	18,534,300	▲520,100	▲2.8
合計			137,413,100	135,099,100	2,314,000	1.7



令和6年度の一般会計予算額は、公債費(▲16億円)や積立金(▲4.3億円)が減少する一方で、小中学校施設整備費などの普通建設費(+19.5億円)、会計年度職員の給与費の増などの人件費(+11.6億円)、扶助費(+3.0億円)などが増加したことにより、前年度比24.5億円増(+3.3%)の777億円となっています。

特別会計の予算額は、約417億円で、全体で約3.8億円(0.9%)の増となっています。これは、港湾事業特別会計において、ガントリークレーンの更新が完了したことにより減少したものの、後期高齢者医療特別会計において広域連合納付金が増加したことなどによるものです。

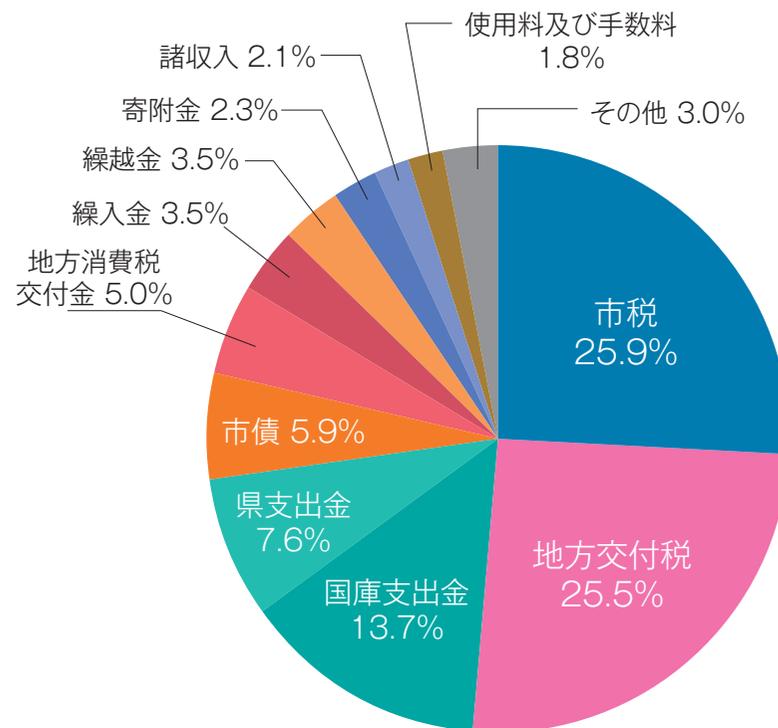
企業会計の予算額は、約180億円で、全体で約5.2億円(▲2.8%)の減少となっています。

02 一般会計予算の概要

歳入予算款別比較

(単位:千円、%)

款	令和6年度		令和5年度		増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
	当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比		
01市税	20,141,840	25.9	20,445,649	27.2	▲303,809	▲1.5
02地方譲与税	562,105	0.7	531,000	0.7	31,105	5.9
03利子割交付金	20,000	0.0	26,000	0.0	▲6,000	▲23.1
04配当割交付金	80,000	0.1	60,000	0.1	20,000	33.3
05株式等譲渡所得割交付金	70,000	0.1	40,000	0.1	30,000	75.0
06法人事業税交付金	400,000	0.5	380,000	0.5	20,000	5.3
07地方消費税交付金	3,900,000	5.0	3,900,000	5.2	0	0.0
08ゴルフ場利用税交付金	20,000	0.0	20,000	0.0	0	0.0
09環境性能割交付金	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
10地方特例交付金	685,000	0.9	130,000	0.2	555,000	426.9
11地方交付税	19,840,000	25.5	17,930,000	23.8	1,910,000	10.7
12交通安全対策特別交付金	17,200	0.0	17,400	0.0	▲200	▲1.1
13分担金及び負担金	277,176	0.4	295,106	0.4	▲17,930	▲6.1
14使用料及び手数料	1,388,035	1.8	1,366,760	1.8	21,275	1.6
15国庫支出金	10,677,816	13.7	10,860,876	14.4	▲183,060	▲1.7
16県支出金	5,925,371	7.6	5,751,216	7.6	174,155	3.0
17財産収入	146,483	0.2	262,361	0.3	▲115,878	▲44.2
18寄附金	1,823,611	2.3	1,702,231	2.3	121,380	7.1
19繰入金	2,690,508	3.5	4,014,784	5.3	▲1,324,276	▲33.0
20繰越金	2,755,639	3.5	2,757,328	3.6	▲1,689	▲0.1
21諸収入	1,650,516	2.1	1,573,889	2.1	76,627	4.9
22市債	4,578,700	5.9	3,135,400	4.2	1,443,300	46.0
合計	77,700,000	100.0	75,250,000	100.0	2,450,000	3.3



一般会計歳入

市税収入は前年度と比較して約3億円の減少(▲1.5%)を見込んでいます。

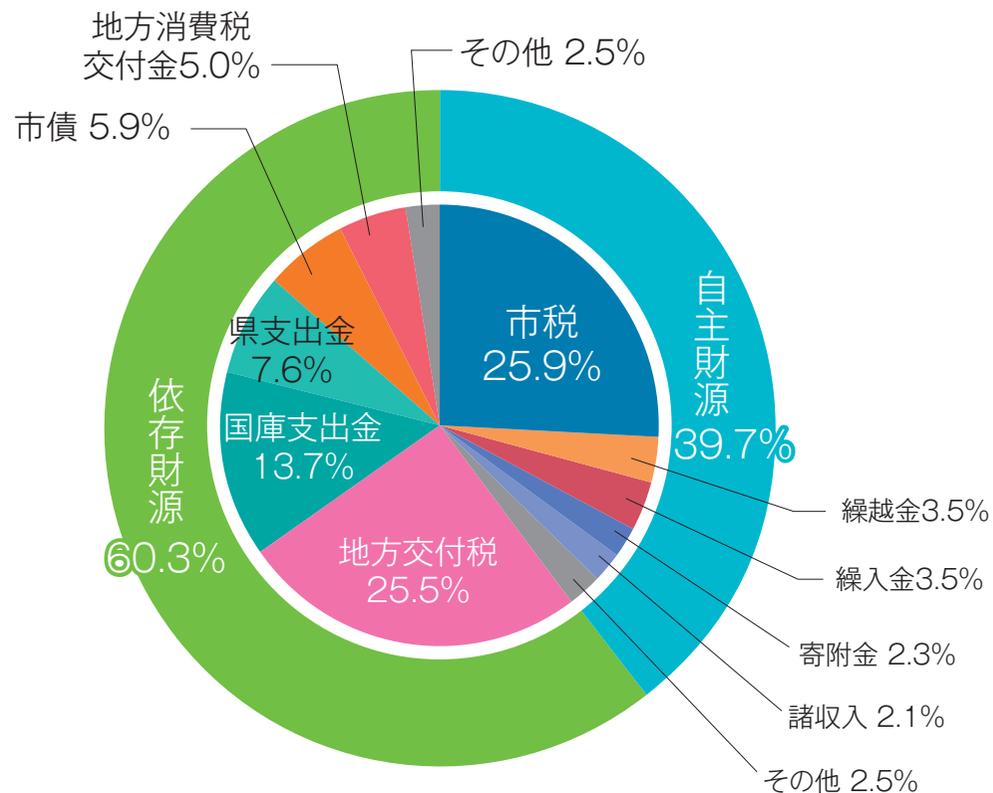
地方交付税については、近年の国税収入の増加に伴う地方財政計画上の伸び率をもとに見込んだことや令和5年度に錯誤額として約13.4億円が差し引かれていたことにより約19.1億円(+10.7%)の増となっています。それに伴い、繰入金も約13.2億円(▲33.0%)の減少となっています。

市債は普通建設費の増加により約14.4億円の増加(46.0%)となっています。

歳入予算財源別比較

(単位:千円、%)

財源	年度	令和6年度		令和5年度		増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
		当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比		
自主財源	市税	20,141,840	25.9	20,445,649	27.2	▲303,809	▲1.5
	分担金及び負担金	277,176	0.4	295,106	0.4	▲17,930	▲6.1
	使用料及び手数料	1,388,035	1.8	1,366,760	1.8	21,275	1.6
	財産収入	146,483	0.2	262,361	0.3	▲115,878	▲44.2
	寄附金	1,823,611	2.3	1,702,231	2.3	121,380	7.1
	繰入金	2,690,508	3.5	4,014,784	5.3	▲1,324,276	▲33.0
	繰越金	2,755,639	3.5	2,757,328	3.7	▲1,689	▲0.1
	諸収入	1,650,516	2.1	1,573,889	2.1	76,627	4.9
	小計	30,873,808	39.7	32,418,108	43.2	▲1,544,300	▲4.8
	依存財源	地方譲与税	562,105	0.7	531,000	0.7	31,105
利子割交付金		20,000	0.0	26,000	0.0	▲6,000	▲23.1
配当割交付金		80,000	0.1	60,000	0.1	20,000	33.3
株式等譲渡所得割交付金		70,000	0.1	40,000	0.1	30,000	75.0
法人事業税交付金		400,000	0.5	380,000	0.5	20,000	5.3
地方消費税交付金		3,900,000	5.0	3,900,000	5.2	0	0.0
ゴルフ場利用税交付金		20,000	0.0	20,000	0.0	0	0.0
環境性能割交付金		50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
地方特例交付金		685,000	0.9	130,000	0.2	555,000	426.9
地方交付税		19,840,000	25.5	17,930,000	23.8	1,910,000	10.7
交通安全対策特別交付金		17,200	0.0	17,400	0.0	▲200	▲1.1
国庫支出金		10,677,816	13.7	10,860,876	14.3	▲183,060	▲1.7
県支出金		5,925,371	7.6	5,751,216	7.6	174,155	3.0
市債		4,578,700	5.9	3,135,400	4.2	1,443,300	46.0
小計		46,826,192	60.3	42,831,892	56.8	3,994,300	9.3
合計		77,700,000	100.0	75,250,000	100.0	2,450,000	3.3



一般会計 歳入財源別比較

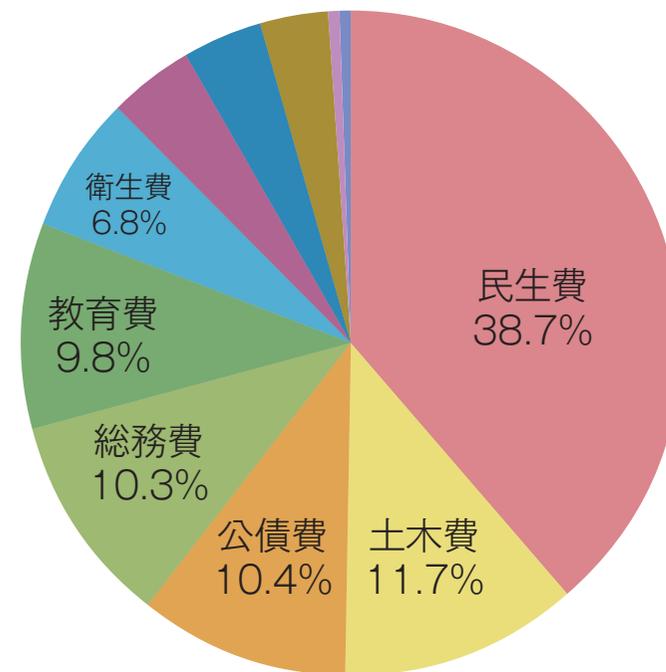
自主財源は、令和4年度の過大交付分の財政調整基金からの取り崩しがなくなったことなどから基金繰入金が約13.2億円(▲33.0%)の減少に加え、市税収入が定額減税の影響により約3億円(▲1.5%)の減少となっています。そのため、自主財源全体では約15億円(▲4.8%)の減少となっています。

依存財源では、普通建設事業費増に伴う市債の増加に加え、地方交付税の増加に伴い、全体では約40億円(+9.3%)の増加となっています。

歳出予算款別比較

(単位:千円、%)

款	年度	令和6年度		令和5年度		増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
		当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比		
1	議会費	424,300	0.5	424,873	0.6	▲573	▲0.1
2	総務費	8,022,713	10.3	6,736,577	9.0	1,286,136	19.1
3	民生費	30,052,572	38.7	29,314,957	39.0	737,615	2.5
4	衛生費	5,252,824	6.8	5,939,023	7.9	▲686,199	▲11.6
5	労働費	276,497	0.5	261,805	0.3	14,692	5.6
6	農林水産業費	2,528,808	3.3	2,415,258	3.2	113,550	4.7
7	商工費	3,024,158	3.9	2,727,616	3.6	296,542	10.9
8	土木費	9,109,046	11.7	8,686,066	11.5	422,980	4.9
9	消防費	3,264,662	4.2	2,646,348	3.6	618,314	23.4
10	教育費	7,635,348	9.8	6,396,694	8.5	1,238,654	19.4
11	災害復旧費	5,400	0.0	5,400	0.0	0	0.0
12	公債費	8,073,672	10.4	9,665,383	12.8	▲1,591,711	▲16.5
13	予備費	30,000	0.0	30,000	0.0	0	0.0
合計		77,700,000	100.0	75,250,000	100.0	2,450,000	3.3



一般会計 歳出〈款別〉

総務費は、市債を活用して実施する支所整備費や職員給与費などの増加により、全体として約12.9億円(+19.1%)の増となっており、教育費は、小中学校の施設整備費、学校運営費、体育施設管理運営費の増加により全体として約12.4億円(+19.4%)の増加となっています。

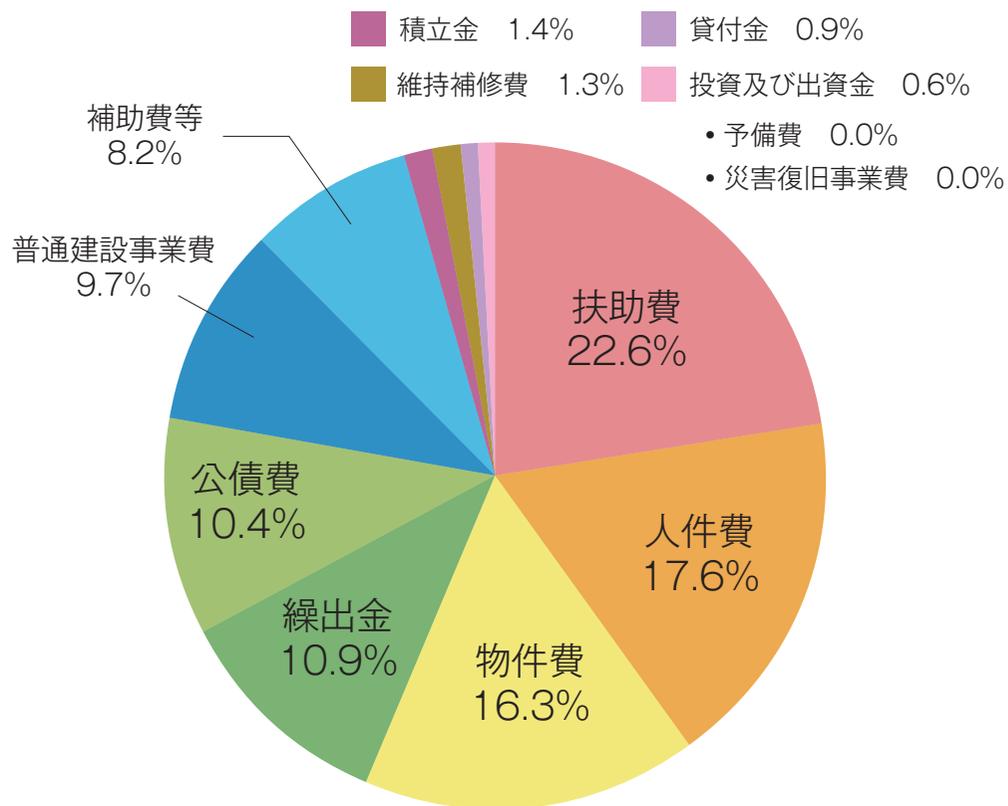
衛生費は、新型コロナウイルス感染症予防接種費の減少などにより、約6.9億円(▲11.6%)の減少、公債費は、市債の償還が進んだことで元利償還金が約15.9億円(▲16.5%)減少しています。



歳出予算性質別比較

(単位:千円、%)

区分	年度	令和6年度		令和5年度		増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)
		当初予算(A)	構成比	当初予算(B)	構成比		
消費的経費	人件費①	13,708,805	17.6	12,543,913	16.8	1,164,892	9.3
	物件費	12,671,508	16.3	11,939,785	15.9	731,723	6.1
	維持補修費	1,014,058	1.3	1,101,109	1.5	▲87,051	▲7.9
	扶助費②	17,528,723	22.6	17,223,756	22.9	304,967	1.8
	補助費等	6,419,790	8.2	6,443,580	8.6	▲23,790	▲0.4
	小計	51,342,884	66.1	49,252,143	65.5	2,090,741	4.2
投資的経費	普通建設事業費	7,532,109	9.7	5,585,495	7.4	1,946,614	34.9
	災害復旧事業費	5,400	0.0	5,400	0.0	0	0.0
	小計	7,537,509	9.7	5,590,895	7.4	1,946,614	34.8
その他	公債費③	8,073,672	10.4	9,665,383	12.8	▲1,591,711	▲16.5
	積立金	1,084,267	1.4	1,512,731	2.1	▲428,464	▲28.3
	投資及び出資金	456,653	0.6	433,914	0.6	22,739	5.2
	貸付金	693,500	0.9	618,500	0.8	75,000	12.1
	繰出金	8,481,515	10.9	8,146,434	10.8	335,081	4.1
	予備費	30,000	0.0	30,000	0.0	0	0.0
	小計	18,819,607	24.2	20,406,962	27.1	▲1,587,355	▲7.8
合計	77,700,000	100.0	75,250,000	100.0	2,450,000	3.3	
義務的経費(①+②+③)	39,311,200	50.6	39,433,052	52.5	▲121,852	▲0.3	



一般会計 歳出〈性質別〉

義務的経費とは、支出することが制度的に義務付けられている経費であり、簡単に削減することができない経費として、人件費、扶助費、公債費で構成されています。

定年引上げによる退職者増に伴う退職手当の増や職員給与費の改定に伴い人件費が増加しているものの、公債費が元利償還金の減に伴い減少しているため、義務的経費全体として約1.2億円(▲0.3%)減となっています。

普通建設事業費は常備消防施設整備費や小中学校の施設整備費などにより約19.5億円(+34.9%)の増加、物件費は約7.3億円(+6.1%)の増加となっています。



人口減少対策

しまなみ振興課

新規

地域人材交流支援事業 **308万3千円**

地方に興味がある市外の若者と人手不足で困っている事業者をWEB上でマッチングさせるプラットフォームを活用し、地域活性化や交流人口の増加を図る

支援内容 事業者…プラットフォームの活用経費
特設HPの開設等を支援
来今者…レンタサイクル利用クーポンを提供



物価高騰対策と地域経済の立て直し

保育幼稚園課・学校給食課

給食費等の負担軽減による子育て支援 …………… **6,240万円**

(1) 保育所給食等材料費高騰対応 …………… **1,680万円**
私立施設への補助金交付 (1食あたり20円)



新規 (2) 学校給食費改定激変緩和措置 …………… **4,560万円**

学校給食運営委員会に対する補助 (1食あたり20円)

小学校220円→新270円→激変緩和250円

中学校250円→新305円→激変緩和285円





DX・GXの促進

AI技術を活用した

農業土木課・道路課

新規

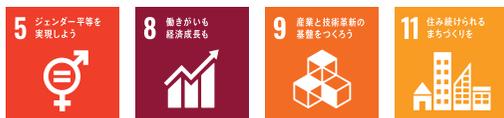
インフラメンテナンス・防災対策事業 …… 1,175万6千円

(1) 治水施設遠隔監視装置システム拡張 …… 960万円

降雨予報データを基にAI予測機能を活用し、事前に取り水堰を開扉し浸水被害の防止を図る

(2) 道路損傷検知システム導入 …… 215万6千円

AIを活用したスマホアプリにより道路損傷を検知し、道路維持管理業務を効率化



働き方改革・2024年問題への対策

産業振興課

新規 物流・建設業の2024年問題対応支援 …… **3,000万円**

新規 (1) 物流・建設業務効率化等支援事業 …… **2,500万円**

補助率 1/2 (上限50万円)

対象事業 ア 業務の効率化に資する機器・システム導入
イ 労働環境の整備 (シャワー室、託児スペース設置等)

新規 (2) 物流・建設免許等取得支援事業 …… **500万円**

補助率 1/2 (上限25万円※1人あたり5万円)

対象事業 業務に必要な資格取得の費用



能登半島地震を教訓とした防災・減災対策

防災危機管理課・消防総務課・
警防課・建築住宅課など

拡充

防災・減災体制の強化 2億973万4千円

市民の生命を守る万全の備え

- (1) 防災拠点等の整備 生活用水兼耐震性防火水槽の整備など
- (2) 避難所の強化等 備蓄用食料、物資等の確保など
- (3) 防災訓練等 ドローンパイロットの養成など
- (4) 各種計画の策定 地域防災計画の見直しなど
- (5) 防災士の養成・防災啓発活動 災害時マイタイムラインの作成など
- (6) 災害への備え 木造住宅耐震等改修・設計への支援など





市民サービスの向上

市民が真ん中課・未来デジタル課

住民窓口の多様化モデル事業 …………… **2,485万3千円**

「行かない窓口」、「書かない窓口」設置による住民サービスの向上

(1) 移動市役所の運用

マルチタスク車両を活用した移動型行政サービス

- オンライン相談
- 住民票等の証明交付
- マイナンバーカード申請受付 など

(2) 申請ナビの運用

オンライン申請「手のひら市役所」の推進

- 必要な手続への誘導
- マイナンバーカード認証による申請者情報の記入省略





市政への市民参画

秘書広報課・i.i.imabari!推進課

広報広聴・情報発信の強化 **4,266万9千円**

(1) 市政広報テレビ番組制作・放送 **2,610万3千円**

市政にまつわる、観光、産業、イベント、スポーツなどの情報発信

新規

(2) 魅力発信推進事業 **1,656万6千円**

ア 戦略的情報発信プロジェクト

「魅力発信チーム」の設置と県内外への魅力的な情報発信

イ i.i.imabari! デジタルプロモーション事業

スマホ利用者への発信に特化した

端的で話題性のある動画でPR





新たな市役所への変革

市民が真ん中課

拡充 地方創生SDGs推進事業 …………… **1,012万5千円**

(1) SDGs普及啓発用ボードゲーム…………… **100万円**
本市独自のボードゲームを作成、小中学校へ配布

(2) SDGsフェスティバル…………… **400万円**
人気キャラクターによる啓発で楽しく学び、認知から行動へつなぐ

拡充 (3) サステナブル研究活動支援…………… **100万円**
SDGsを推進する教育機関等に対し活動費の一部を支援

新規 (4) SDGsプラットフォーム…………… **412万5千円**
活動を可視化するプラットフォーム構築
情報発信の強化・活動の横展開を図りSDGs運動の広がりへ



新たな市役所への変革

総務調整課・スポーツ振興課・生涯学習課

しまなみ総合庁舎整備事業・伯方支所跡地活用事業…………… **6億3,626万円**

(1) しまなみ総合庁舎整備事業…………… 3億1,820万円

(2) 伯方支所跡地の活用…………… 2億6,940万円

伯方支所跡地を活用し、公民館・体育館を整備するほか民間活力を活かした「にぎわいの拠点」づくり





むすんだ絆、つながる未来
今治市合併20周年

合併20周年記念事業課

拡充

合併20周年記念事業 4,367万8千円

(1) 未来発掘プロジェクト12

発掘隊員154名が各地域の魅力を掘り起こしふるさと今治を発信

(2) 市民がさんかくおむすび交流会

未来発掘プロジェクト12の中間報告、市民交流会

(3) 合併20周年記念式典

市民表彰、未来発掘プロジェクト12報告会

(4) グランドフィナーレ～次の20年に向けて～

未来発掘プロジェクト12報告会

12地区の食材活用によるイベント

未来発掘プロジェクト大型かるた大会 など





合併20周年記念事業の展開

合併20周年記念事業課ほか

新規

合併20周年記念関連事業 **9,021万7千円**

新規

(1) デジタルスタンプラリー

地域の魅力再発見により周遊性を高めるデジタルスタンプラリーを実施

新規

(2) 地域連携・活性化推進事業

各地区団体が地域を跨いで連携する取組の強化

拡充

住民の創意工夫に基づき地域の自立的発展を目指し実施する事業を支援

(3) 地域伝統芸能交流推進事業

姉妹都市等の伝統行事と本市郷土芸能との共演による担い手の創出

新規

(4) 成人式の合同開催

合併年度（平成16年度）に誕生した成人を一斉にお祝いする「合同成人式」



合併20周年記念事業の展開

合併20周年記念事業課ほか

新規

今治文化・スポーツ祭 **6,795万5千円**

(1) 美術フェス

「丹下健三顕彰事業」「えひめアートプロジェクト里山スタジアム事業」など

(2) 文化芸能フェス

「総合芸能祭」「落語会市民講座」「書道ライブインカレ」など

(3) 音楽フェス

「国際音楽交歓コンサート2024」「音楽ワークショップ」など

(4) 映像フェス

「いまばり映画祭」「アートプロジェクト」「坊っちゃん劇場8K映像上映会」など

(5) 歴史フェス

「村上海賊ミュージアム特別展」「日本遺産構成文化財体験ツアー」など

(6) スポーツフェス

「巡回ラジオ体操」「今治シティマラソンリニューアル」「こども野球教室」など



市民生活のDX

保育幼稚園課

拡充 保育所等ICT化推進等事業…………… **150万円**

午睡チェックシステムの導入を支援することにより、園児の安全を確保するとともに保育士の負担軽減を図る

対象施設…私立4施設
補助率……対象経費の3/4



まちづくりのDX

i.i.imabari! 推進課

新規 デジタル地域通貨導入実証事業 2,000万円

市民生活へのデジタル実装と域内での消費喚起を目的としたデジタル地域通貨の導入に向け、庁内横断的な検討会議を設置し、実証事業の実施とその効果検証

期待される効果

- 利便性の向上
- 行動変容の促進
行政ポイントの付与による「ボランティア」「健康」「環境」の取組などへの市民の参画意欲の向上
- 経費の削減
印刷費・郵送料等の金銭コスト、窓口対応等の人的コスト



まちづくりのDX

観光課・i.i.imabari! 推進課

稼ぐカグレードアップ事業 **2,435万円**

「稼ぐカ」の向上と、瀬戸内クロスポイント構想の実現

新規 (1) 物産観光PR業務 **1,485万円**

愛媛県が楽天と共同展開する「愛媛百貨店」と連携し、市特産品の物産販売と観光誘致プロモーションを図ることで更なる消費と関係人口を拡大

拡充 (2) 地場産品販路拡大等支援業務 **950万円**

市内事業者等と共同し、付加価値の高い地場産品の更なる需要の拡大



行政のDX

未来デジタル課

新規 オンライン申請フォーム作成支援業務 …… **338万8千円**

今治でのひら市役所

いつでも、どこでも、スマホやパソコンなどから申請が可能

オンライン申請の拡充

現在62手続（戸籍関係証明書、所得課税証明書など）

→さらに需要の高い20手続を追加





産業と仕事支援

産業振興課

新規

地域産業デジタルイノベーション加速化事業…… 8,120万円

(1) 今治イノベーションラボ推進事業…………… 3,120万円

最先端技術による新製品の研究開発や生産工程の変革を支援

(2) DX推進事業…………… 2,000万円

生成AI等のデジタル技術を活用した業務改革や生産性向上を支援

(3) 技術開発・販路開拓事業…………… 3,000万円

最先端技術を活用した新商品・新技術の開発や販路開拓を支援

IMABARI INNOVATION LAB

||

集まって、繋がり、創造する空間



産業と仕事支援

産業振興課

デジタル人材育成事業 **2,150万円**

(1) デジタル人材育成・リスキリング支援事業 ……1,070万円

求職者や市内で働く方をデジタル人材へと育成

新規 (2) AI等に関するセミナー開催 **480万円**

自社の課題を解決し成長のヒントとなる事業者向けセミナー

新規 (3) AI人材育成事業 **600万円**

相談体制を構築し、知識や基本スキルを習得する講座を開催



i.i.imabari!のパワーアップ

地域振興課・しまなみ振興課

移住交流推進事業 9,247万9千円

新規 もどろう今治!セカンドキャリアUターン促進 100万円

都内で開催する「今治の集い」に今治出身者を招待し親睦を深め、求人企業とのマッチングを通じUターンを促進

対象…今治をふるさとにもつ首都圏在住者 (25~35歳)
内容…Uターン施策説明会の後に「今治の集い」へ招待





地域資源を生かした観光振興

観光課・文化振興課・i.i.imabari!推進課など

観光振興事業..... **1億206万9千円**

新規 (1) 地域通訳案内士養成事業..... **445万1千円**

インバウンド向けに高品質なサービスを提供する市民ガイドの資格取得促進

新規 (2) スポーツ文化ツーリズム体験型プログラム造成促進事業..... **1,000万円**

地域資源を活かした体験型観光コンテンツを磨き上げ誘客を促進

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」受賞
日本最強の城「今治城」を中心にしたスポーツ文化ツーリズム
～瀬戸内の中央を制した歴史が現代に繋がる～



地域資源を生かした観光振興

サイクルシティ推進課・道路課

サイクルシティIMABARIのパワーアップ……………**2億6,468万3千円**

(1) サイクリングしまなみ2024

ア 国際サイクリング大会の開催経費…………… **2,924万6千円**

開催日…10月27日(日)

場 所…しまなみ海道・周辺地域 (全8コース)

参加者…3,500名程度

イ 参加者へのおもてなし…………… **300万円**

せとうちみなとマルシェクーポン配布

(2) 自転車通行空間整備事業…………… **2億200万円**

今治駅としまなみ海道を結ぶアクセスルートの整備促進
(市道北宝来近見線道路改良工事)





農林水産業の支援

農林水産課

拡充 食と農のまちづくり推進事業 …………… **2,286万9千円**

新規 (1) 有機農業者栽培技術指導 …………… **163万8千円**

1年を通しての専門家による技術指導・経営指導

新規 (2) オーガニックイベント運営業務 …………… **150万円**

有機農業・農産物を周知PR

新規 (3) オーガニックビレッジ推進事業 …………… **84万1千円**

「いまばりオーガニック」のブランディング

(4) 地産地消推進事業 (学校給食) …………… **1,260万円**

安全安心な今治産食材を学校給食に活用

- 学校給食用減農薬米流通支援事業
- 学校給食用地元産物流通支援事業
- 学校給食用麦大豆生産振興事業
- 学校農園等有機JAS取得推進事業





農林水産業の支援

農林水産課

森林環境整備・林道整備事業 …………… 1億5,231万1千円

(1) 森林環境整備事業 …………… 1億1,058万6千円

森林環境譲与税を財源とした森林整備事業及び担い手の確保

ア 森林整備

イ 担い手確保への取り組み

(ア) 林業作業班等確保育成事業

(イ) 森林作業道整備事業

(2) 林道管理費 …………… 4,172万5千円

ア 県営林道整備事業

イ 林道整備工事

ウ 林道舗装改良工事



地域コミュニティの活性化

地域振興課

拡充 地域公共交通活性化事業 …………… 2,441万5千円

(1) 地域公共交通活性化協議会 …………… 2,166万5千円
持続可能な地域公共交通ネットワークや新たな交通システムの導入についての調査研究や乗合タクシーの運行などを実施



新規 (2) 第二種免許取得支援事業 …………… 275万円

運転手を確保するため新規採用時の第二種免許取得費用を負担している事業者に対し助成

- 補助内容
- バス …教習費用×1/4 (上限12万5千円)
 - タクシー…教習費用×1/4 (上限 7万5千円)



新たなまちづくり・中心市街地の再開発

拡充

しまなみ海道の利用促進と

通行料負担軽減 …………… 7,990万4千円

地域振興課など

「しまなみ海道通行料実質無料化推進会議」の設置 …………… 150万円

- 通行料金の令和6年問題を乗り越え新たなフェーズとして全庁体制による検討会議を設置
- 様々な角度から実質無料化・利用促進に繋がる具体的かつ効果的な方策を検討





新たなまちづくり・中心市街地の再開発

魅力都市創生課

新規 中心市街地まちづくり基本計画策定業務 …………… **5,870万円**

まちづくり構想の将来ビジョンを実現するための施策と手法を具体的に示す中期的計画

- (1) 中心市街地のネットワーク空間特性とアクティビティ分析
- (2) まちづくり市民会議（仮称）の開催
- (3) 社会実験実施に向けた検討
- (4) 「中心市街地グランドデザイン」の策定



ゼロエミッション社会への移行

環境政策課など

拡充

GX推進事業 **4億9,170万円**

(1) GX推進セミナー 180万円

新規

(2) 中小企業等先導的脱炭素化モデル創出支援業務... **550万円**

「初期コストの負担」「ノウハウ不足」など、中小企業等が脱炭素化の取組を検討する際に抱える懸念を払拭するため、国補助金（設備投資等）の活用を見据えた伴走支援を実施

先行事例を創出し横展開 → 産業界の脱炭素化を促進

- 対 象...5社程度
- 内 容...公募による事業者選定
事業者カルテの作成 (CO₂排出状況等)
設備投資計画書等の伴走支援
優良事例集の作成



ゼロエミッション社会への移行

環境政策課

地域再生可能エネルギー推進事業 **6,470万円**

新規 公共施設への太陽光発電設備設置

令和5年度に実施した基本調査業務において、概算事業費や投資回収見込み等を勘案し、自己設置が有効と判断された施設に太陽光発電設備を設置するもの

- 設置箇所.....今治衛生センター
- 発注方法.....設計施工一括発注
- 環境負荷軽減...約26.6t/年 (杉の木換算約3,000本) CO₂削減見込





文化・スポーツのまちづくり

スポーツ振興課・サイクルシティ推進課

新規 魅力あるスポーツイベントの誘致 …………… 750万円

(1) 第2回モルックジャパンオープン

老若男女を問わず楽しめる「モルック」の全国大会を開催

開催日 6月1日(土)、2日(日)※予定

開催場所 スポーツパーク ※予定

(2) 第2回今治クリテリウム

全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）によるプロツアー

開催日 7月13日(土)

開催場所 中心市街地

プロ選手による自転車安全教室の開催(仮)

開催日 7月12日(金)※予定

対象者 市内小学生





子育て支援・今治版ネウボラの推進

ネウボラ政策課

新規 木育スタート事業 **1,440万円**

(1) ウッドスタート事業 1,266万2千円

- ウッドスタート宣言 (5月中旬を予定)
- 新生児へ「木のおもちゃ」の誕生祝品を贈呈
- 「木育」の推進に向けた「木育円卓会議」を開催

(2) 木育キャラバン 173万8千円

- 木のぬくもりを感じられるイベントの開催





子育て支援・今治版ネウボラの推進

ネウボラ政策課

新規 今治版ネウボラ拠点整備事業 **950万円**

今治版ネウボラ相談サテライトモデル事業
認定こども園・幼稚園・小児科等の多機関連携による
「機能的なサテライト窓口」となる子育て広場を開設

設置場所…イオンモール今治新都市
実施内容…子育て家族の遊び場、子育て相談、子育て講座等



子育て支援・今治版ネウボラの推進

保育幼稚園課

新規 こども誰でも通園制度(仮称) 試行的事業 …… 2,622万2千円

保護者の就労要件を問わず定期的な通園を可能にするもの

対象者…生後6か月～2歳までの未就園児

利用上限…1人あたり月10時間

実施施設…6施設

(認定こども園3・保育所1・地域型保育施設2)



子育て支援・今治版ネウボラの推進

環境施設課

町谷きっずパーク(仮称)整備事業 …………… **3億1,600万円**

今治版ネウボラの遊び場サテライト

子育て世代に寄り添うこちいい遊び場づくり(12月工事完了予定)



(イメージ)



学びの充実・教育大綱の推進

教育大綱推進課・学校教育課

拡充 英語教育の充実 **9,096万4千円**

(1) ALT (外国語指導助手) の充実 **9,026万4千円**

- ア ALT増員 (14→16名) 小中各1校のモデル校に派遣
- イ ALT等への研修を開催
- ウ ALTコーディネーター配置 (1名)
- エ ALTアドバイザー配置 (2名)

新規 (2) イングリッシュキャンプの開催 **70万円**

外国人講師や留学生による英語でのデイキャンプ・宿泊体験





多様な生き方の尊重

福祉政策課

新規

終活サポート事業

35万円

「自らの万が一の際を、元気なうちから考えておき、
これからの生活をより実りあるものにしていく」ため
終活サポートセンターを設置
福祉専門職員が相談者に寄り添い支援

事業内容

緊急連絡先、エンディングノート、遺言書等の登録

緊急時の病院、警察等関係機関への情報提供体制の構築



「人生100年時代」に向けた幸齢社会の実現

健康推進課

予防接種事業 **1,900万円**

(1) 子どもを守るインフルエンザ予防接種に対する支援 **1,600万円**

生後6か月から12歳までの小児・児童、及び受験生世代(中学・高校3年生)への予防接種の実施を促進

新規

(2) 高齢者肺炎球菌感染症任意予防接種助成事業 **300万円**

65歳の定期予防接種の機会を逃し、対象年齢を過ぎて初めて高齢者肺炎球菌ワクチンを任意接種(自費)で受ける方へ費用を助成

対象者…定期、任意に関わらずこれまで23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンを一度も接種したことがない66歳以上の高齢者

接種費用…約8,000円(医療機関による)

助成額…1,000円





「人生100年時代」に向けた幸齢社会の実現

福祉政策課

新規 友愛訪問事業 **50万円**

引きこもり気味な独居高齢者を「地域の輪」につなぐ
老人クラブ会員が対象者の自宅を訪問し、地域の高齢者サロンやクラブ活動
の情報提供を行う
⇒外出機会の創出・地域とのつながりを構築



障がい者にやさしいまちづくり

障がい福祉課

新規

障害者社会参加促進事業 **75万2千円**

(1) 磁気誘導ループの導入 **63万2千円**

音の反響が大きいホール等の空間内において、補聴器等で目的の音声鮮明に聞こえるようになる移動型の「磁気誘導ループ」を導入し、必要な団体等へ貸し出しを実施

(2) 電話リレーサービス利用者の負担軽減 **12万円**

(一財)日本財団日本電話リレーサービスが提供する聴覚障がいのある方や難聴者向けのサービスについて、利用登録者の負担軽減を行うとともに、普及促進を図る



福祉政策課

避難行動要支援者避難支援対策事業 …………… **796万4千円**

(1) 避難行動要支援者個別避難計画作成業務…496万4千円

昨年度実施したハイリスク層に続き、ミドルリスク層の避難支援の実効性を高める個別避難計画を作成

新規

(2) 個別避難計画作成支援 …………… **300万円**

ローリスク層における個別避難計画作成の取組を支援

実施主体 自主防災組織、自治会等

支援内容 1件あたり3,000円



健康推進課

新規

災害時の医薬品供給体制の確保…………… 265万2千円

- (一社) 今治薬剤師会との協定締結により、有事に備え市内10か所(陸地部6・島しょ部4)に医薬品を備蓄
- 薬剤師の管理のもと、薬局の通常営業の範囲で備蓄品を使用し減少した医薬品を定期的に補填(劣化に伴う廃棄の抑制)



消防本部総務課・警防課

消防施設整備事業 5億3,333万6千円

常備消防

ア 消防車両等の更新
はしご車(30m級)、高規格救急車1台、指揮車1台、広報車5台

新規

イ 衛星Wi-Fiを活用した映像伝送システム整備
災害時においてもドローンで撮影した映像伝送可能な体制整備

ウ 中央消防署仮眠室改修工事

新規

エ 中央消防署東分署仮眠室改修工事

非常備消防

新規

ア 朝倉方面隊第1分団消防詰所の統合整備

新規

イ 今治方面隊第8分団消防詰所の統合整備

ウ 消防団車両等の更新
小型動力ポンプ積載車1台、小型動力ポンプ軽四積載車(車両)1台、小型動力ポンプ6台